

就職活動日誌

国際社会学科（女）

<内定先企業>

業種：運輸業

職種：事務系総合職（営業、総務、人事、教育など）

勤務地：全国

選考方法：GD、テストセンター、面接2回

<就職活動の流れ>

3年 夏 —留学から帰国したばかりで「シューカツ」の実感がなかった—

- ・リクナビ、マイナビ、みんな就、日経 Navi などの就職情報サイトを見始める
- ・リクルートスーツなどをそろえる
- ・気になる企業にはとりあえずプレエントリー

パンツスーツを買わなかったのは冬に後悔！

10月 —公務員か民間企業かも定まっていなかった—

- ・合同説明会@東京×2回
- ・大学の就職ガイダンスに参加
- ・サイトのチェック、プレエントリーを続ける

漠然と「食品メーカーの海外営業がいいなあ！」と思っていた。

11月 —公務員試験の勉強をする余裕がなかった—

- ・合同説明会@東京×2回
- ・大学の就職ガイダンスに参加
- ・サイトのチェック、プレエントリーを続ける

TOEIC 受験、ジョイント、まちづくり、留学報告会、授業レポート…。シューカツは後回しに。

12月 —ようやくシューカツにエンジンがかかりだす—

- ・学内合同説明会に参加
- ・大学の就職ガイダンスに参加
- ・サイトのチェック、正式エントリー（Web）が始まる

友達とのおしゃべりが自己分析に繋がる。SPI も毎日やる（計算系を重点的に）。

1月 —企業の個別説明会、ES 提出が始まる—

- ・履歴書用写真を写真屋さんで撮る
- ・ES を出し始める
- ・大学の就職セミナーに参加

この頃は「医療機器メーカーもいいね！」に変化。

2月 ー民間企業のみシフト、いよいよ筆記試験も始まるー

- ・ES提出、Webテストが日に日に増える
- ・国家公務員職場訪問・セミナーに参加→公務員への熱が冷める
- ・学内進路相談室の先生に相談・面接指導してもらう
- ・企業個別説明会×4社（運輸3、卸1）
- *食品メーカーN社：筆記試験→不合格
- *運輸K社：筆記試験→不合格

この頃に「物流業界ってすごい！」と思い始め一気に興味がわく。

先生にズバズバ言われ号泣したが、今となってはそれで良かったと感謝。

3月 ーシューカツ・震災・友達との別れー

- ・これまで出していたESがことごとく落ち、新たにESを提出する日々。Webテストも続く。
- ・企業個別説明会×5社（運輸3、製紙1、教育1）
- ・テストセンター×3回（納得いなくて毎回受け直していた）
- *運輸YL社：筆記試験→不合格
- *運輸JE社：筆記試験→合格（辞退）

震災で採用活動も遅れ、これからどうなるのか不安に。親しい友人が卒業し、孤独と戦うことも。

4年 4月 ーいよいよ面接が始まるー

- *運輸NT社：一次集団面接→二次個人面接→不合格
- *精密機器M社：説明会→一次個人面接→不合格
- *運輸YA社：説明会。後日グループワーク→テストセンター→合格（二次面接へ）
- *英会話I社：説明会。後日筆記試験&一次集団面接→合格（辞退）
- *海運L社：会社訪問
- *倉庫S社：説明会

本命だった面接で惨敗した後は家で大号泣。おかげで吹っ切れ次に活かした。月の3分の1は東京にいた。

新聞記事、自問自答したこと、面接の反省、いろんな情報を整理することで面接も自信を持って臨めるようになる。

5月 ー面接が続く。そして・・・ー

- *運輸NS社：説明会。後日グループワーク→後日一次集団面接→合格（最終面接へ）
- *運輸YA社：二次個人面接→最終面接→内々定！！
- *倉庫S社：筆記試験→不合格
- *海運F社：説明会
- *海運L社：筆記試験→合格（辞退）
- *運輸JR社：テストセンター→合格（辞退）

行きたかった企業から内々定を頂く。他の選考を全て辞退し、シューカツ終了！Yahooooooooooo!!

<就職活動歴>

○ブックマーク企業：約 200 社

○エントリー企業：約 100 社

○ES 提出企業（Web 含む）：25 社

- ・食品メーカー7社
- ・医療系メーカー3社
- ・製紙メーカー1社
- ・教育2社
- ・電力1社
- ・精密機器メーカー1社
- ・運輸10社

○説明会参加：合同4回、個別23社

○選考参加：15社

○面接：5社

○内定：1社

○上京回数：35回

<就職活動で大事にした点>

- ・広く社会に貢献できる仕事ができるかどうか
- ・世界を舞台に成長、活躍できる仕事かどうか
- ・企業として誠実であるかどうか
- ・あ、いいなーと心が動くかどうか

<なぜ運輸業か>

最終的に運輸業に就くことに決めましたが、その理由は主に3つ。①ボーダレス化が進む今、物流は欠かせないインフラであり広く社会に貢献できること②世界を視野に入れた幅広い仕事ができること③様々な業界と深く関わっており、いろいろな人と接する事ができること。漠然と言えばこういう感じです。つまり、いろんな可能性を秘めているような気がしたのです。

<なぜ YA 社か>

初めは海運業に就きたかったんです。国際物流営業とか通関とか、とにかく貿易に関わるようなことがしたくて。ですがなかなか受からなくて、これはひょっとして向いてないのかな？と考えるようになって、海運に限らず陸・海・空全ての運輸に範囲を広げて会社を回るようになりました。そこで出会ったのが主に陸運の YA 社です。

YA 社を志望した理由は①人を大切にしていること。物流の仕事は目に見えるモノを売るわけではないので、サービスの差別化が重要になる。そのサービスを生み出すのは「人」なわけで、その「人」を大切にしている（女性や障害者の積極的雇用などなど）。もちろん社員のみでなく、お客様を大切にする姿勢・工夫がなにより魅力的だった。②歴史ある会社でありながら日々挑戦し続けていること。現在アジア進出の真っただ中で、私もそれに加わりたと思った。③グループの力。グループ内であらゆるソリューションが展開できる体制を整えており、インフラを担う企業としてどんな要望にも応えられると考えた。

他にも様々ありますが、主にこうした理由から「ここでなら自信を持って働けそう！」と感じた、ということ。どんな企業がいいかとかは人それぞれだと思うので、自分の中の「いいね！」ボタンを押せるかどうかを判断基準にしたらいいのではないかと思います。。

<職種について>

初めはずっと「営業」を志望していました。正直それしかイメージできなくて、なんとなくでした。業界ばかりみていて職種ってよく考えていなかったの。そしたら進路相談の先生に「あなたに営業はむり！」と断言されてしまいました。そこでちゃんと職種について調べていくうちに、自分には人事・総務

が向いているのでは、というかやりたい、と考えるようになりました。面接で「営業やりたいです！」って言ってた頃はバンバン落とされていたけど「人事・総務に興味があります」って言い出したらぼつぼつ受かるようになったので、やっぱり見ている人はすぐに適性とかも見抜くのかなぁ、と思ったりします。

<勤務地について>

私はとりあえず地球上ならどこでもいいかなと。若いうちは、いろんなところに行っているいろんな経験がしたいと思っています。震災後は正直気持ちも揺れて宮城に戻りたいと思ったけど、やっぱりいろいろ経験したいって野望が勝ちました。

<就職活動中の私生活>

- ・睡眠時間はだいたい5時間くらい。ESを書きながらコタツで寝ることが多々あったので、コタツは片づけた！けど結局お風呂でも電車でも寝てたかもzZ
- ・アルバイトは変わらず週2~4日でやっていた。今思えばいい気分転換になったし、面接の話のネタにもなった。融通が利くバイト先をあらかじめ選んでおくのも戦略のひとつってことかな…。
- ・授業との両立は、正直できなかった。3年後期に取っていた授業は3つのうち2つを棄権。よくみていてくださった先生に、本当に申し訳なかった。ゼミだけはなんとか頑張った。
- ・気分転換は友達と話すこと！！ただワイワイやるだけで「一人じゃない」って安心するし、自分では気付かなかった自分を指摘してもらえたりとラッキーなことがたくさんある。仲良しグループはもちろん、普段あまり関わらないような先輩や後輩、バイトのおばちゃん、先生とも話す機会があるとよりよい！他には読書やスポーツなんかもストレス発散になった。
- ・困ったことは口内炎と化粧。化粧は苦手なのでどうしたらファンデーションが崩れずテカらず一日を過ごせるのか…結局分からないまま終わった！だからずっとテカテカだった！あと前髪どうしようか悩んだ。丸顔・童顔なので大人っぽく見えるよう横に流してたんだけど、広いおでこが恥ずかしくなって途中でぱつぱつ切った。第一印象は大事みたいだから、いろいろ悩みます…。
- ・ちなみに携帯はスマートフォンじゃなかった。案外いけます！

<後輩のみなさんに>

散々ぶれまくっていいと思う。あれもいいな、これも魅力的だな、と好奇心旺盛にいろいろと見て回らないと軸も何も形成されないと思う。たくさん迷って迷ってたどり着いた先が、結局それまでに自分が絞り込んで選んできた結果なんだから、自信を持って決定していいんじゃないかな。私も「本当にこれでいいのかな」って100万回くらい考えたけど、とにかく仕事はやってみないと分からないので。ベストを選べばそれに越したことはないけど、ベターでも十分だと思う。シューカツしてると「夢を追求しなきゃ」って強迫観念があるけど、毎日、かつ何十年も携わるものなので待遇や企業体質などの現実的な部分にもきちんと目を向けることも忘れないほうがいいと思う。

けど、自分に嘘はつかないほうがいい。無理だと思ったら無理する事はないし、やりたいと思ったらやってみればいい。50歳の自分はちょっと想像できないけど、まずは25歳、30歳になった時どんな自分でいたいかって考えたら少しは見えてくるんじゃないかな…。

見ていてくれる人は必ずいます。努力は怠らずに、でも着飾らないでありますようにー